

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-GREEN

東京グリーン

CHARTERED 1973

< 2017.12 >

BULLETIN

2017年7月～2018年6月



国際会長 Henry J Grindheim「ともに、光の中を歩もう」(ノルウェー)
アジア会長 Tung Ming Hsiao「ワイズ運動を尊重しよう」(台湾)
東日本区理事 栗本治郎「広げようワイズの仲間」(熱海)
関東東部部長 長尾昌男「義務を果たして、クラブと関東東部の活性化を図ろう」(千葉)
クラブ会長 浅見隆夫「親睦なくして奉仕はない」(グリーン)

会長 浅見 隆夫
副会長 西澤 紘一
書記 目黒 卓
書記 布上征一郎
会計 浅見 クミ子
会計 佐野 守
監事 柿沼 敬喜
担当主事 松本 竹弘

12月 クリスマスメッセージ 「飼い葉桶の救い主」

ルカによる福音書 2 : 7

「初めての子を産み、布にくるんで飼い葉桶に寝かせた。」
＜人生ドンゾマリの状態から、神さまは私たちを救おうとされる。
だからクリスマスは嬉しいのです。ありがたいのです。

2017年12月 **クリスマス** 例会

日時:2017年12月20日(水) 18:30～21:00
場所:「ふたみ食堂」台東区浅草橋 1-31-4
(会費 5000 円) TEL03-4296-2638
受付・司会 プログラム委員

<礼拝>

讃美歌 112 番 全 員
聖書 クリスマスメッセージ 古 平 君
讃美歌 109 番 全 員
献 金 青 木 君

<食事会>

開会挨拶 浅見会長
ゲスト・ビジター紹介
食前の感謝 西澤君
乾杯 西本君
食 事 ～鹿児島料理と 60 種の焼酎をご堪能～
＜プレゼント交換:くじ引きで・・・＞

献金贈呈 東京 YMCA 松本主事へ 青木君
Happy Birthday<浅見クミ子メン・西澤与子メネ2名>
報告・連絡・アピール 希望者
閉会挨拶 柿沼君

*会場は 20 人で満員の小さなお店を借り切りました。

EMC-MC 強調月間



今月はEMC活動のうちM(Member-Ship-会員増強)、C(Conservation-維持啓発)についての強調月間です。Mに関してはボランティアスタイルの多様な社会風土としてまだ日本では継続的な献金行為が根付いていない中で、仲間になって貰いたい候補者探しに苦労されているのが現状かと思われます。その為には、会員個人とクラブが相当な覚悟を持って一体となって組織的に活動していかねばと考えています。具体的には、あらゆる機会に「ワイズ理解」のPRをするとともに、仲間候補対象者(個人あるいはグループ)を絞り込みとその勧誘対策をとることが必要です。Cに関しては、新入会員は勿論のこと、会員個人々人に対しても、クラブキャビネットが分担する等して常にきめ細かいフォローをしていくことが肝要だと思います。具体的には、例会、クラブCS事業やYMCAおよび部、区、国際等の大会への参加を促す策を計ることです。ただし、何といたってMC活動は例会の充実が第一であることを心していただきたい。

なお、ワイズ活動目的の根幹であるYMCAが現在取り組んでいる「YMCAブランドの再生」および「東京YMCA中期計画」の成果を大いに期待しています。

(直前関東東部会員増強事業主査 柿沼敬喜)

【例会出席率】 在籍:17名(含広義会員1名) メーキャップ 2名 出席率 11/16 69%

出席:11月例会 (クラブ出席者 メン9名 メネット1名 計10名)

【ニコニコ】 11月例会 11,000円 今期累計 35,000円

＜2017年11月 第一例会 報告＞

日時:2017年11月15日(水) 18:30~20:30
場所:千代田区和泉橋区民館2F
出席:青木・浅見(隆)・浅見(ク)・稲垣・柿沼・古平
西澤・布上(征)・布上(信)・松本 (10名)
ゲストスピーカー:神崎清一日本 YMCA 同盟総主事



今月のゲストスピーカーとしてお招きしたのは上記日本 YMCA 同盟神崎清一総主事です。クラブの西澤メンが YVLF での神崎総主事のお話に感銘を受けて、メンバー数の少ない我がクラブでもお話願えるのかと打診したところ、快くお引き受けいただいた次第です。

お話のタイトルとしては「ユースの話、ブランディングの話」となりましたが、内容は神崎総主事の YMCA、ワイズに拘わる経過、心情、そして今後に対する情熱・・・多岐にわたりお話をされました。

昭和 28 年、大阪に生まれ、64 歳。9 歳のころ小学校 4 年で六甲山のキャンプに行っても楽しかった。そしてその時のリーダーに憧れた記憶があり、その影響か筑波大を卒業後京都 YMCA に就職をした。

私を変えた三つの出来事。

- ①阪神淡路大震災でボランティアの神髄を学ばされたこと。ボランティアをしている自分はそれを受け取る方々より優位な気持ちを持って接してはいないか・・・という反省。
- ②受洗した直後のインド訪問で「物乞い」が仕事になっている貧困の現状。異文化の違いを深く理解しているかどうか考えさせられた。
- ③聖人君子でないとクリスチャンになれないと思っていた。自分自身の家庭・私的な事情もあり信仰の道に飛び込みました。そして人生を前向きに進めることが出来ている。

2020 年に向かって日本 YMCA の中期計画。今回は初めて、同盟も大阪 YMCA、東京 YMCA も一緒に進める長期計画としてスタートしました。ポジティブネットの考え方、新しいマークの作成、希望に向かって飛び立つイメージ。《若者にビジョンを老人に夢を》青少年の健全な育成のために行動し、若者に未来を託しましょう。

最後に「私のウェルネス」として数項目の言葉が記されているメモを配布された。その最下段に書かれているのは【今日生かされていることを神様に感謝できましたか?】。

例会終了後、簡単に二次会として近くの居酒屋にお誘いしましたが、アルコールは全くダメですが宴席は好きですということでした。お付き合いいただきありがとうございます。(布上 記)

＜2017年11月 第二例会 報告＞

2017年11月1日 18:30~20:00
和泉橋区民館 出席:青木・浅見(隆)・浅見(ク)
柿沼・高谷・西澤・布上(征)・布上(信)・目黒・松本

報告・連絡事項

- ① 沖 利柯さん還暦を祝う会 参加 青木方枝メン 記念品代贈呈 クラブの5名から
- ② 三島クラブ 40周年記念例会 12月2日(土) 日本大学国際関係学部(三島市) 参加 浅見クミ子・浅見隆夫 登録費・補填審議
- ③ 11月卓話者 神崎清一 日本 YMCA 同盟総主事 西澤メン交渉、総主事快諾
- ④ 第2回関東東部評議会 11月18日(土)13:00受付 13:30開会 16:30閉会 出席:浅見(隆)・浅見(ク)・布上(征)・布上(信) 東京 YMCA 東陽町センター視聴覚室
- ⑤ ソシアス2017(会員親睦・協議会)柿沼出席 11月25日(土)10:00~15:00 江東 YMCA 幼稚園
- ⑥ 12月23日(土)東京 YMCA クリスマスオープンハウス 東陽町にて/グリーンは甘酒とフランク焼きで奉仕

審議・協議事項

- ① 稲垣勝啓メン 11月末退会の件承認 それに伴い、次回 2018 年 5 月開催より「神田川船の会」は後任として目黒実行委員長が推進。稲垣現実行委員長より目黒メンに引継ぎ進行中
- ② 45周年記念特別例会について <第2報・12月末までに皆様へ配布などの手配を>
- ③ 12月20日クリスマス例会について 《食事会:浅草 橋・ふたみ食堂 予約》
- ④ 18年1月13日(土) 在京ワイズ新年会 しのめ YMCA ベイサイドクラブ担当
- ⑤ 18年2月卓話者 梶木氏・介護の話 西澤メン交渉
- ⑥ 公民館登録者変更<稲垣⇒高谷メン> 千代田区在住者資格として。

Happy Birthday

12月 浅見クミ子(メン) 西澤 与子(メネット)

クラブの円滑な運営のため、年会費をお納め下さい
(2017-18年度 会計:浅見クミ子)

<会計担当・口座番号 変更になりました>

みずほ銀行 駒込支店 店番号559 (普)1310439
口座名 東京グリーンワイズメンズクラブ



Vision 互いを認め合い、高め合う
「ポジティブネット」のある
豊かな社会を創る。

東日本区ワイズメネットのつどい開催

三島クラブ創立 40 周年記念例会に参加して



2017年11月25日(土)横浜中央 YWCA に於いて第 21 回東日本区ワイズメネットのつどいが開催されました。会場の準備のため開会より 1 時間早く着きましたがすでに大村委員長さんを中心に委員の方々の手際の良い準備が整っておりまして。私は受付でのお手伝いでした。



聖書を製本する時の紙の切れ端を使って作成する、クイーリングの歴史の講演と指導では自分のものは何とか完成させましたが、仕上がりは満足できませんでした。プチマルシェには沢山の献品が寄せられました。短い時間で完売(64,000 円)となり、大変うれしかったです。お久しぶりの方々も多く、懐かしく、楽しく お話が出来ました。ご出席された皆様のご協力に心から感謝申し上げます。(布上信子 記)

グリーン参加
青木メン
布上メネ
浅見メン



12月2日(土) 来春の東京グリーン創立 45 周年記念例会のアピールを兼ねてクミ子・隆夫の二人でお祝いに伺いました。会場の日本大学国際関係学部校舎は三島駅のお隣で、早めに着いたこともあり記念事業の子供が描く「ふるさと三島」絵画コンクールを拝見しました。応募作品約 500 点の中から三島市長賞をはじめとして 50 点の入選作品が飾られていましたが、流石にどの作品も力作で見ごたえのある作品でした。

ウェルカムメッセージとして「こどもヴァイオリン演奏」が披露され、いよいよ藤田小夜子会長の力強い開会点鐘が響き型通りのセレモニーと来賓祝辞、そして絵画コンクール表彰式に移りました。呼びあげられるどの子も受賞に顔が輝き、その様子を一生懸命写真に収めるご両親の姿はとても微笑ましい光景でした。

第二部は学生食堂に移動、土曜日の為か学生の姿は無く、大変清潔な調理場を備えた食堂でした。三島市を代表する伝統芸能「しゃぎり」は楽譜がなく代々口伝された祭囃子に迎えられセレモニー開始。クラブ功労者表彰で何故か会長はじめメンバーの湿っぽい雰囲気が気になりましたが、会食はアルコールも入りワイズらしい賑やかでアトラクションのみんなで踊ろう！農兵節では全員が輪となり盛り上がりました。

アピールタイムには東京グリーン創立 45 周年記念例会をご案内したところ「必ず参加するからご案内を送って！」とありがたい手ごたえを感じました。

いよいよ閉会の辞で担当の小野和昭メンに代わり息子さんがマイクをとり「このお目出度い席を父はとても楽しみにしておりましたが、二日前に天に召されました。」のご挨拶に、一同先ほどからの三島メンバーのどこか浮かない様子が納得されました。大学の先輩でもありいろいろとご指導をいただいた先輩の穏やかな笑顔を思い浮かべながら一同とともに黙祷を捧げました。三島クラブは代替わりが進み若いメンバーがキビキビと働いていたのが大変印象に残りました。(浅見隆夫 記)



第 2 回関東東部評議会 開催

2017年11月25日(土)13:30~16:30 東京 YWCA 東陽町センター視聴覚室にて開催。長尾関東東部部長挨拶では 10 月 18 日に行われた関東東部近隣 5 クラブ合同例会の成功を報告。各事業主査報告、各クラブ会長報告。グリーンからは浅見会長が来年 3 月 21 日に行われる「東京グリーンクラブ設立 45 周年記念例会」のアピールがあった。議事・協議では、関東東部バナーの旗竿購入承認。CS事業の支援金改定で、新規事業に限らず継続事業についても 2 年間 3 万円の補助を行えるように決した。東京グリーン出席:浅見会長・浅見クミ子メン・布上メネット主査・布上書記の 4 名。懇親会は全員不都合で欠席しました。(布上 記)



ブリテン図書室

第42回『日の名残り』カズオ・イングロ:1989年

日本語訳 土屋政雄

(中央公論社:1990年)

1989年カズオ・イングロ氏は、本作品を著わし英国ブッカー賞を取った。その後、数々の名品を世の送り出しとうとう2017年度のノーベル文学賞に輝く。

幼少期に英国にわたり英国作家として成功したイングロ氏は英国の伝統・文化を日本人の感性で描くと言う独特の境地を切り開いてきた。



『日の名残り』は、第1次世界大戦と第2次世界大戦のハザマの時期に起こったさまざまな出来事を執事ステーブンス氏が回顧する形式で物語が進む。

まだ大英帝国の名残が残っていた名家ダーリントン卿の豪邸が戦後米国の資産家ファラディ氏に売却されたが、ダーリントン時代から仕えていたステーブンス執事はそのまま残ることとなった。ファラディ氏は、自分の留守の間、執事に氏の車を貸すから気晴らしの旅行を勧める。ステーブンス氏は、久しぶりに自由を得て英国の田舎町を気ままにドライブする。

訪れた町を散策するごとに、むかし執事として活躍したことを思い出す。その中の1つのエピソードが女中頭のケントンさんであった。仕事が良くでき、少々鼻っ柱が強い女性であった。ステーブンス氏も彼女に一目置いてはいたが、打ち解けるには少々高い壁があった。些細な事で対立したケントンさんはダーリントンホールから出奔することとなった。遠い西のほうの町で結婚したのである。彼女がいなくなって始めて恋していたことに気付く。今回の旅は、何年ぶりかで彼女から来た手紙の真意を測るためでもあった。それには、現在の生活に満足しておらず、元のダーリントンホールに働き口があれば戻っても良いとの話であった。6日間の旅程の中で5日目に彼女と会う約束をした。それまでは、訪ね歩いた館や宿で偶然に会う人々との会話を楽しんだ。中でも何故戦争に出かけるのか?の問いに、ある若者が、自由に会話でき、好きな所に旅ができ、信頼できる人に投票し、その人が過れば落選させる自由を守るためであると答えた。英国の片田舎であっても民主主義が根付いていることを示唆している。一方で、複雑な外交、金融などの専門知識がないと理解できない現象に対して、見かけの人気で投票してしまう現在の風潮にも警告を出している。

最近の英国 EU 離脱や米国のトランプ孤立主義で分かるように、威勢のよさだけで政治が左右されてしまう事にも触れている。

ステーブンスが執事として仕えたダーリントン氏が卿としての責任感で第1次大戦後の外交の支援をしたことがかえってナチスの協力者と見なされ戦後不遇の内に亡くなった事を嘆いている。しかし、執事とは、主人を全面的に信頼して仕えることであると言つてのける。一方で、主人の過ちを正すことが出来なかったのか、またケントン氏の淡い恋に気付かなかったのか? 海に沈む夕日を眺めながら来し方を悔悟の念をもって涙するシーンが切ない。

(西澤紘一 記)

YMCA コーナー

▼ソシアス 2017(会員親睦・協議会)

11月25日(土)晴天の中、江東コミュニティーセンターを会場に「ソシアス 2017」を開催しました。YMCAの新しいロゴマークやブランドコンセプトなどについて学びを深め、その後、参加者全員でバーベキューの準備を行い広い園庭で交流を深めました。また現在会員部が中心に進めているガガ(イスラエルのドッジボール)の普及のための体験会では熱戦が繰り広げられ、その隣では、江東幼稚園にプレゼントをするガガのピッチコートを新しく作りました。学院長から江東センター、江東幼稚園のツアーもあり参加者の交流を深める良い時間を持つことができました。



グリーン参加は
柿沼メン 1名



▼チーム対抗・カローリング大会

11月19日(日)に東陽町ウエルネスセンターにて「チーム対抗・カローリング大会」を開催しました。2017年12月で東陽町ウエルネスセンターは閉館しますが、学校事業(社会体育・保育専門、インターナショナルスクール、日本語学校)や語学事業、地域活動に取り組むコミュニティーセンターはこの東陽町地域に残ります。これからも今までの以上の地域活動を推進していく意気込みもあり、この大会を会員の方と一緒に開催しました。

事前に練習会や審判練習も行い、大会当日も皆様のご協力のもとスムーズに運営ができました。12チーム総勢43名の参加がありました。



(主事 松本竹弘 記)